

---

**NEWS RELEASE**

---

## ベリトランス、わずか数行のコードを書くだけで導入可能な簡易な決済サービス 「VeriTrans Air Direct」の提供を開始 決済専用サイトに遷移せずに安全性の高い決済サービスの利用が可能

---

オンライン決済ソリューションを提供するベリトランス株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役:沖田 貴史、以下:ベリトランス)は、自社が開発・提供する SME(中小企業)向けのオンライン決済サービス「VeriTrans Air(ベリトランス エアー)」に API 型機能を追加した、「VeriTrans Air Direct」の提供を開始しました。

「VeriTrans Air」は、安全性の高いオンライン決済サービスを手軽に利用したいという事業者のニーズに応えるために開発したもので、リバース・イノベーションとベリトランス独自の決済連動型広告により実現した透明性の高い料金体系が売り物です。具体的には、①クレジットカード決済とコンビニ決済に対応、②導入に必要な手続きはオンラインでの無料ユーザ登録と事業者自身での EC サイトへのコードの組込みのみ、③審査を含め申し込みから運用開始まで最短 1 週間、④入金サイクルは最短 3 営業日以内、といった特徴があります。

詳細: <http://www.veritrans.co.jp/air/>

「VeriTrans Air Direct」は、「VeriTrans Air」に API 型機能を追加することで実現した新決済サービスです。EC 事業者は「VeriTrans Air Direct」の提供する JavaScript を自社 EC サイト内ページに埋め込むことによって、商品購入時にベリトランスの決済専用画面に遷移することなく、EC サイト内で決済を完了させることが可能になります。このため、ブランドイメージやデザイン性を重視したい中小 EC 事業者に最適な決済サービスといえます。また、セキュリティ面においても、国際的なカード 5 ブランドにより策定されたセキュリティ基準「PCI DSS」に完全準拠した環境で設計し、自社 EC サイト内で決済が完結する形式でありながら顧客のカード情報を EC サイトに一切残さないため、情報漏えいリスクが非常に低い環境を実現しています。

また、「VeriTrans Air Direct」のもう一つの大きな特徴として、システムを組み込むための仕様を専用のオンラインページで公開していることが挙げられます。EC サイト側のエンジニアは、ベリトランスの公開するこうしたオンラインマニュアルやサンプルコードを参考に自社のコードに決済サービスを組み込んでいくことが可能です。API 型の機能と並んで、米国で急速に広がりつつある新たな決済サービスの提案手法といえます。

ベリトランスは今後も様々なアイデアにより、消費者・事業者ニーズに最大限にこたえたサービスをオンライン・オフライン、日本国内外に限らず幅広く開発・提供してまいります。

### 【ベリトランスについて】

デジタルガレージグループで、EC 決済事業を担う econtext Asia Limited (HKEx:1390) の子会社。「EC 事業者のコアビジネスへの専念」を基本理念に、同じく econtext ASIA 傘下のイーコンテクトと共に、グループ全体で日本最大規模の EC 決済プロバイダーとして、日本国内はもとよりアジアを中心とした海外市場をカバーするグローバルな EC 決済プラットフォームの構築を目指し事業を拡大している。

URL: <http://www.veritrans.co.jp/>

Twitter: [https://twitter.com/veritrans\\_group](https://twitter.com/veritrans_group)

Facebook: <https://www.facebook.com/veritransgroup>

## NEWS RELEASE

### 【オンラインマニュアルのイメージ】

#### クレジットカード決済 (/charges)

[Token Id](#)を利用して決済を行うAPIです。

Token Idにはおよそ1分間の有効期限があるため、ブラウザからToken Idがマーチャントサイトに送信されたら、即座に本APIを利用してカード決済を実施する必要があります。

2回目以降、カード情報を入力しなくても決済できるようにするには、オプションの [register](#)パラメータおよび [ReCharges API](#) を利用してください。

#### Uri

要求パラメータをJSONでBodyに記述し、以下のURLへPOSTで要求を行ってください。

https://air.veritrans.co.jp/vtdirect/v1/charges

#### リクエストパラメータ

##### リクエストヘッダ

HTTPヘッダとして、以下のヘッダを指定すること。

```
Accept application/json
Content-Type application/json
Authorization Basic {base64encoded_server_key}
{base64encoded_server_key}には、Base64エンコードした
Server Keyを指定する。
```

##### リクエスト本文 \*...必須

- \* **token\_id** Tokens APIによって払い出されたTokenIdを指定する。
- \* **order\_id** 決済ごとにユニークな番号を指定する。利用可能文字は半角英数字とハイフン、アンダースコアで100桁以内であること。
- \* **gross\_amount** 決済金額を1~99999999で指定する。
- with\_capture** 同時売上するかどうかをBooleanで指定する。指定しなかった場合は与信のみ実施する。trueを指定した場合は与信と同時に売上も行う。
- register** マーチャントサイト側会員に本決済の取引を紐づけるかどうかをBooleanで指定する。指定しなかった場合は紐づけしない。Trueを指定した場合は、本決済の取引IDをAir-Directに記録する。(決済が失敗した場合は記録しない)
- customer\_id** マーチャントサイト側会員の識別ID(マーチャントが採番したもの)を指定する。RegisterにTrueを指定すれば、Customer Idを指定しなくてもRegister Idは払い出されるが、その場合はマーチャントで払い出されたRegister Idを保管する必要がある。
- test\_mode** 決済をダミー取引とするかどうかをBooleanで指定する。指定しなかった場合は本取引となり、ダミー取引とならない。テスト時はtrueを指定すること。

##### リクエストサンプル1

以下のようなJSONをリクエスト本文に記述する。

```
{
  "token_id": "7caebe94-b39c-4468-aad0-4da4e42648a8-411111-1111",
  "order_id": "TEST0001",
  "gross_amount": 1980
}
```

##### リクエストサンプル2

2回目以降の決済のためにマーチャントサイト側会員と決済を紐づけるためには、以下のような

##### PHP code

```
$setting = new \VtDirect\Client\Setting();
$setting->SetServerKey("aaaaaaaa-1111-1111-bbbb-000000000000");
$input = new \VtDirect\Client\Request\ChargesParameter();
$input->order_id = "TEST0003";
$input->token_id = "1c0cc4c0-9973-40db-bf81-8caf5349037d-411111-1111";
$input->gross_amount = 1980;
$charges = new \VtDirect\Client\Charges($setting);
$response = $charges->ChargeWithToken($input);
```

##### 成功時のレスポンスの内容

```
register無効時
{
  "data": {
    "order_id": "TEST0004",
    "gross_amount": 1980,
    "card_number": "4111XXXXXXXXXX11",
    "with_capture": false
  },
  "mstatus": "success",
  "vresult_code": "A001H00100000000",
  "transaction_type": "a",
  "pending": 0,
  "acquirer_code": "05"
```